

長岡京市立神足小学校

スクールプラン

校 訓（目指す子ども像）

- 1 至誠 （真面目に頑張る子）
- 2 進取 （自ら進んで取り組む子）
- 3 敬愛 （思い遣る子）

令和6年4月

基本的な方針

- ◆教職員が互いに尊敬し信頼し合い、協力して効率的な運営を目指す。
- ◆特別活動を核とした教育活動の活性化を図る。
- ◆重点委研究で獲得した手法や成果を集団作りや教科指導に活かす。
- ◆日常の学校生活を、人権の視点から捉え直し、人権意識の高揚を図る。
- ◆タブレットの文具化を進め、自分の考えでタブレットを活用する児童を育成する。
- ◆児童・保護者・地域・学童保育との信頼関係の構築を図る。
- ◆学校教育の使命を果たしながら、働き方への意識改革を図る。
- ◆開田保育所との効果的な連携を進め、教育活動の充実を図る。
- ◆感染症対策をしっかりと行い、児童が安心して学校生活を送ることができる。

地域・保護者のニーズ

- 1 学力の定着・向上
- 2 安心・安全な学習環境・施設整備
- 3 特別支援教育を主とする個に応じたきめの細かい指導
- 4 校区の環境変化に対応した登下校等の安全

具体的な児童の姿

- 1 高学年があいさつや清掃活動等に頑張る姿を全校のモデルとし、真面目に取り組むことが「かっこいい」という価値観や規範意識の高揚が見られる。
- 2 様々な機会を通して達成感や成就感を獲得させることで、授業や学校生活において学習意欲や生活意欲が高まり、児童の積極的な挑戦が見られる。
- 3 道徳や人権教育、特別活動の充実を図り、日常生活を人権の視点から捉え直すことで、人権意識や道徳性が高まり、自分や友だちを大切にする言動が随所に見られ、学級や学校の仲間と共により高みを目指そうとする姿が見られる。

みんなで、わくわくする学校をつくろう！～しなやかに たくましく～

重点事項

- 1 ー① あいさつの励行 ー あいさつは相手を思い遣り、気持ちを伝える第1歩であること
ー 児童自ら「ありがとう」「ごめんなさい」と言えること
ー 教職員が、あいさつをする後ろ姿を見せること
②他学年に、頼られ、憧れられる高学年の育成（高学年の姿を全校モデルに）
③清掃活動の充実（学級で一生懸命・先生方の率先垂範）
④係活動や当番活動の工夫と充実（困難な仕事も自ら進んで取り組む子）
- 2 ー①重点研究の深化により、個別最適な学び、協働的な学びを推進
②児童にとって達成感や成就感のある魅力ある授業の創造
③特別支援教育の視点から個に応じた指導と支援
④タブレットの活用
教師の指導のための教具の一つではなく、児童の文具として、その活用を図る
⑤デジタルドリルの活用
子どもたちが、自己調整しながら自ら進めていく（自走する）ための助走に取り組む
⑥共に学び、共に成長する教職員集団
（積極的なおせっかい：迷惑がられても尋ねる：率直な意見交換など）
- 3 ー①良い聞き手を育てる（話をしっかり聴くことと、相手を認めながら心で聞く）
②教育活動を人権の視点から見つめ直す（配布物・掲示物・敬称等）
③不登校やいじめの未然防止と早期発見、早期対応に努める（チームで対応）
④学校として一致した対応と積極的な保護者連携に努める
（迅速で一致した危機対応、連絡帳より電話、電話より家庭訪問、ハッピー電話）
⑤HP・学校だより・学年便り・学級通信等により、広報に努める。※掲示板の活用



目指す学校教育

◎学力の向上と個性や能力の伸長

※個別最適な学び

- ・子ども一人一人が、興味や関心、特性等に応じ、自ら課題を設定し解決する力の育成を目指し、個別最適な学びを追求する。

※協働的な学び

- ・培ってきた話合いの素地を活かし、互いに学び合う協働的な学習を追求する。
- ・異なる考えを受け留め、自らの考えと比較したり組み合わせたりすることで、多様でより良い学びを生み出す。

◎豊かな人間性の育成と健康や体力の向上

- ・命を大切に行動する児童の育成
- ・道徳教育の推進
- ・あらゆる教育活動を通した人権教育の推進
- ・不登校やいじめの未然防止、薬物乱用・非行防止

◎府民・市民の信頼を高める学校づくり

- ・開かれた教育課程に基づく、開かれた学校づくりの推進
- ・教師力の向上・働き方の改革